

第5回 日本ユング心理学会（JAJP）研修会のご案内

主催：日本ユング心理学会

日時：2018年9月16日（日）12：00-16：45

会場：京都アスニー（京都市中京区聚楽廻松下町9の2）

ご挨拶

すでにご承知の通り、当学会では、2012年4月の設立と同時に「認定心理療法士」資格の認定を開始し、以降、すでに48名の方がこの資格を取得されました。

この資格の創設は、それぞれの学会が認定する専門資格の役割が今後増すであろうという予測のもとで、ユング心理学に基づく心理療法家の育成・認定を目指すものです。またユング派分析家資格の要件のほぼ半分にあたるもので、手の届きやすい資格であると同時に、将来の分析家資格取得にもつながるものです。

2014年度より、本学会資格研修委員会では、会員の方々の参加を優先させつつ、心理臨床を実践しておられる方々にも広く門戸を開き、臨床の質を高めていくための研修機会を提供することを目的とし、第5回日本ユング心理学会研修会を企画いたしました。

内容といたしましては、本学会認定心理療法士資格をもつ講師による、理論と技法、双方の面でユング心理学の「基礎」を学ぶ分科会と、特定のテーマを設定した「事例検討」の分科会となっております。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2018年7月吉日

日本ユング心理学会
資格研修委員長 河合 俊雄

<開催要領>

1. 定員：180名

2. 参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

3. 参加費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円

4. 研修内容：以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

セッションⅠ（12：00-14：15）/セッションⅡ（14：30-16：45）

(1) セッション I (12:00-14:15)

● 〈事例検討1〉川戸 圓(川戸分析プラクシス)

「物語は存在するか」

心理療法において「物語を創る」ことは、ユング心理学的観点からみると、心の変容の重要な作業の一つと見做される。「物語を創る」とは存在しないものを存在させる創造の作業のことではない。物語は常に存在しているのである。存在するものを物語と認識することが意識的に物語を存在させることになる。心理療法は、まずはクライアントの中には存在していた物語を、意識的な存在者とし、それに続いて、それまでの認識を変容させることだと考えられる。認識の変容、認知の変容の重視である。そして変容の機序となるものは何か、それが問われなければならない。

※この分科会では、参加者からの事例発表を募ります。ご希望の方は、申込フォームに100字程度の事例の概要をご記入ください。

● 〈事例検討2〉田中 康裕(京都大学大学院教育学研究科)

「夢(dream)と夢見ること(dreaming)」

以前はトラウマや精神病圏の、昨今では発達障害圏の心理療法の体験から、夢らしい夢を見ること、すなわち、夢見ることができるのは、ごく当然のことではなく、優れて心的な営みであり、それまでに長い道のりを要する事例もあることが、われわれ心理療法家にも実感をもって理解され始めた。この分科会では、一見すると心理学的に理解しがたいような夢も含め、夢が報告された事例を検討することで、「夢と夢見ること」の関わりについて考えたい。

※この分科会では、参加者から夢が報告された事例発表を募ります。ご希望の方は、申込フォームに100字程度の事例の概要をご記入ください。

● 〈基礎1〉北口 雄一(北口分析プラクシス)

「『自我』とは何か、ユング心理学からの再考」

日本語で「自我」という言葉は日常語でなく専門用語ですが、ドイツ語では“das Ich”、つまり英語でいう“the I”で、これは「わたし」という意味で言わば日常語です。また、ユング心理学は“das Ich”(わたし)を超えたものであり、わたしに向かってやって来る「無意識」、言い替えれば“the soul”(魂)が「わたし」にどう影響を与え、効くのかに注目します。今回の分科会では、改めていわゆる「自我がしっかりしている」と言われうるであろう講師による自験例を手掛かりに、「自我」とは何かを、ユング心理学の立場から再考したいと思います。

(2) セッション II (14:30-16:45)

● 〈事例検討3〉河合 俊雄(京都大学 心の未来研究センター)

「身体症状とコスモロジー」

身体症状や心身症について、身体像が問題にされることがあるが、心理療法がうまく展開する場合には、むしろコスモロジーのテーマとして進む場合がある。

種々の心身症状を呈した小学生低学年女子の事例から、コスモロジーの確立のプロセスを検討し、発達障害などの他の症状の場合との比較も行いたい。

事例発表者:長谷川 千紘

● 〈事例検討4〉 桑原 知子(京都大学大学院教育学研究科)

「学校臨床における「関係」について ～ユング心理学の考え方を手がかりに～」

学校現場においては、セラピスト-クライアント関係だけではなく、さまざまな「関係」が生じる。教師とスクールカウンセラー、教師と生徒、学校と保護者、スクールカウンセラーと生徒、教師と教師などなど。これらの「関係」はともすると葛藤を含みがちで、「チーム学校」とよばれる運営体制をとっていくうえにおいても、様々な難しさが予想される。今回の研修会では、学校に生じる「関係」の難しさを、ユング心理学の考え方を手がかりとして解きほぐしてみたい。

※この分科会では、参加者からの事例発表を募ります。

「どんな立場でやったものでも、どのような事例でもかまいません。学校に関わる場で感じた「関係」の困難さをともに考えたいと思います。」

ご希望の方は、申込フォームに100字程度の事例の概要をご記入ください。

● 〈基礎2〉 山口 素子(山口分析プラクシス)

「元型 コンプレックス 心の構造」

元型の理解はユング心理学において根幹です。その元型を核としてそのまわりに群がったイメージや観念の集合体がコンプレックスであり、この二つの概念が、ユング心理学における心の構造の理解の基礎となります。夢やおとぎ話の解釈の仕方から、この三つのキーワードを解説します。

以下の二つの日本語訳が入門編として役立つと思います。

・元型論 C. G. ユング(林道義訳 1999 紀伊国屋書店 以前の元型論と続元型論が合併、改訂されています)

・おとぎ話の心理学 M. L. フォン・フランツ (氏原寛訳 1979 創元社)

5. 参加・発表お申込みについて

右記の「[お申し込みはコチラ](#)」またはQRコードから[申し込みフォーム](#)よりお申し込みください。登録が完了しましたら自動返信メールが送信されます。

(申し込みフォームは、パソコン・スマートフォン対応)



*自動返信メールが届かない場合は、日本ユング心理学会事務局 (office@jajp-jung.info) までご連絡ください。

*フォームからお申し込みが出来ない場合は、必要事項を記入の上、メール (office@jajp-jung.info) または FAX (06-7632-4221)

[お申し込みはコチラ>>>](#)
(申込フォームへ)

にて、日本ユング心理学会事務局までご連絡ください。

必要事項:①氏名②ふりがな③住所④返信用のメールアドレス⑤所属/専攻⑥参加区分(会員・非会員・非会員(大学院生))⑦臨床心理士番号⑧参加ご希望の分科会(セッションⅠ・Ⅱ)⑨事例発表ご希望の分科会⑩事例発表の概要(100字程度)

*申込締め切り：~~2018年8月20日(月)~~ **9月5日(水)**

- ・お申込み受付は、原則として先着順とさせていただきます。
- ・事例検討の分科会は、日本ユング心理学会会員を優先して受付いたします。
- ・希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もありますので、予めご了承ください。
- ・研修ポイントについて、本研修会への参加は、日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、ポイントが付与されます。

*参加証は、研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。

- ・参加証等は、事前に発送いたしません。
- ・申込者本人のみ、ご参加可能です。
- ・各分科会の教室については、8月下旬ごろにメールにてお知らせします。

6. 参加費のお振り込みについて

自動返信メールの内容をご確認の上、~~2018年8月24日(金)~~ **9月7日(金)**までに、以下の口座へお振り込みください。

振込先：三井住友銀行 備後町(びんごまち)支店 普通 1795872 日本ユング心理学会

- ・振込掲載書は領収証代わりになりますので、必ず保管し、当日ご持参ください。
- ・お振り込みは、必ず本人のお名前をお願いします(異なる場合は、事前にご連絡ください)。
- ・納入された参加費は返金できませんので、予めご了承ください。

7. 研修会に関するお問合せ先

日本ユング心理学会(JAJP)事務局

住所：〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6 新元社内

Fax：06-7632-4221

e-mail：office@jajp-jung.info

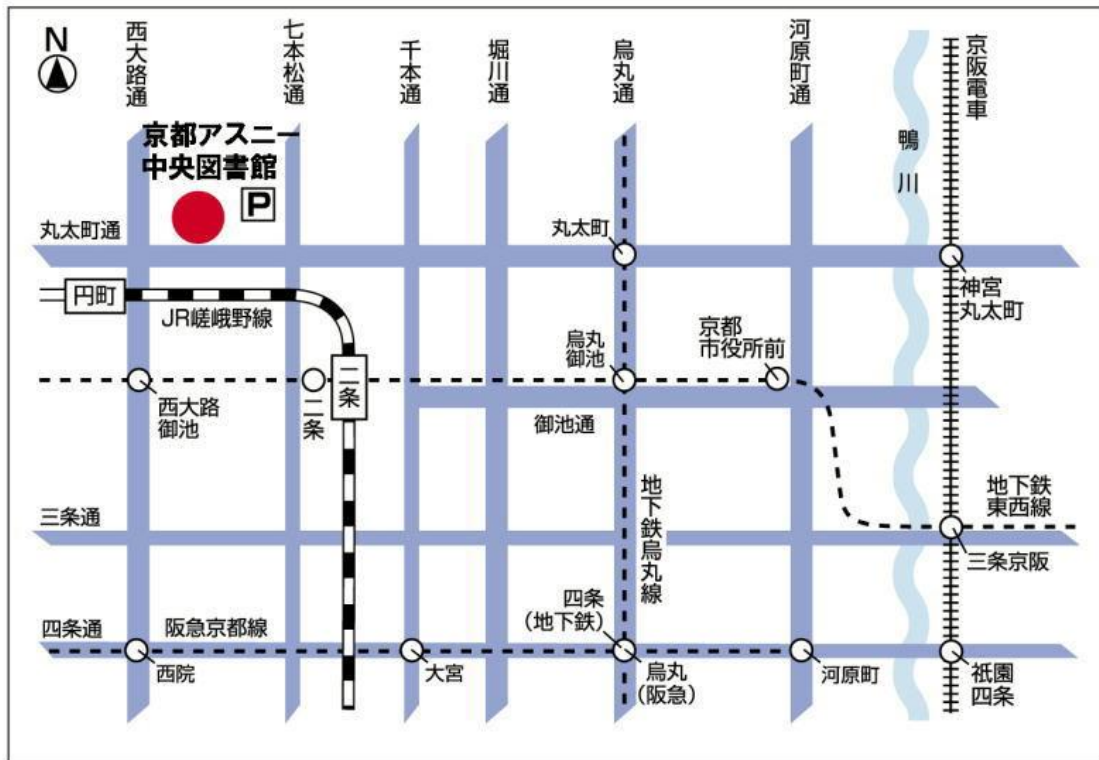
8. 会場案内

京都アスニー

住所：京都市中京区聚楽廻松下町9の2

TEL：075-802-3141

URL：<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asny1/top.html>



- JR・近鉄京都駅から
 - 市バス 206/約 22 分→千本丸太町下車 西へ徒歩 400m
 - JR バス/約 20 分→丸太町七本松下車
- JR・地下鉄二条駅から
 - 市バス 15/約 5 分→丸太町七本松下車
 - 京都バス 61・62・63・65/約 5 分→丸太町七本松下車
 - JR バス/約 5 分→丸太町七本松下車
- 阪急大宮駅から
 - 市バス 6・46・55・201・206/約 8 分→千本丸太町下車 西へ徒歩 400m
 - JR バス/約 10 分→丸太町七本松下車
- 阪急西院駅から
 - 市バス 202/約 10 分→丸太町七本松下車
- 地下鉄丸太町駅から
 - 市バス 93・202・204/約 10 分→丸太町七本松下車
- 京阪三条駅から
 - 市バス 15/約 20 分→丸太町七本松下車
 - 京都バス 61・62・63・65/約 20 分→丸太町七本松下車
- 京阪神宮丸太町駅から
 - 市バス 93・202・204/約 15 分→丸太町七本松下車
- JR 丸太町駅から
 - 市バス 15・93・202・204/約 3 分→丸太町七本松下車
 - 京都バス 61・62・63・65/約 3 分→丸太町七本松下車
 - JR バス/約 3 分→丸太町七本松下車
- 駐車場 施設利用者 30 分までごとに 100 円
 - (※ 1 階事務所に駐車券をご持参のうえ、館内利用手続きを行ってください)